

ひとよし市議会だより

2011 第67号 平成23年 1月15日 発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページからでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



第1回 市議会報告会を開催します

この報告会は、定例会、委員会などの議会活動を市民の皆様にご説明をさせていただくものです。

全議員が参加しての報告会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時及び会場

◆ 平成23年1月28日（金）

午後1時30分…… 人吉市総合福祉センター 1階会議室（西間下町41-1）

午後6時30分…… 人吉市カルチャーパレス 第2会議室（下城本町1578-1）

平成22年12月21日
**正副議長が
交代しました**

（新）議長

箕毛 正勝

（新）副議長

山下 幸一

議員定数削減案を可決!!

議員提案による人吉市議会定数条例の一部を改正する案を賛成多数で可決しました。この条例は議員定数を2人削減し18人とするものです。

平成23年4月以降に行われる一般選挙から適用されます。

総務文教委員会報告

●委員長 下田代 勝 ●副委員長 川野 精一
●委員 西 信八郎・永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・大王 英二

カルチャーパレスを人吉市へ無償譲渡 人吉球磨広域行政組合から

本委員会は、条例案件等 10 件、予算案件 3 件を審査いたしました。

(主な条例) 議第 80 号人吉市行財政経営検討委員会設置条例の一部を改正する条例の制定は、否決といたしました。

これは、現行条例の中の行財政経営検討委員会の検討事項に、公の施設で、市が指定した指定管理者の運営業務を同委員会(市長の諮問機関)の検討事項として、新たに加えようとしたものです。審査の意見として、当面現行条例に基づき、市担当部課によって、評価・検証を行うのが妥当としたことによります。

議第108号は、人吉球磨広域行政組合規約の一部変更に伴う財産処分についてであります。これは、カルチャーパレス(建物=ホール棟等)7,756平米であります。譲渡後、人吉市は改修費8億5千万円の投入となります。改修費が8億5千万円(広域行政組合提示額)を超えた場合は、人吉球磨広域行政組合へ「応分の負担協議を行うよう」強く付言をし認めることといたしました。

(予算案件 歳出の主なもの) 2款総務費7目企画費に、日野熊蔵初飛行百周年記念 BS 全国放送のため、

420万円増額補正。

10款教育費2項小学校費2目教育振興費に、2億6,862万円の増額補正。これは、ICT 絆プロジェクト事業で、タブレットパソコン購入費等でございます。

3目学校建設費として、人吉東小学校耐震工事費に1億4,030万9千円の増額補正。その他、給食配送業務等事業が円滑に翌年度へ移行できるよう、限度額を設け債務負担行為の補正を行っております。

慎重に審査の結果全員異議なく認めることにいたしました。



上原城跡発掘現場を視察する総務文教委員会

厚生委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 豊永 貞夫・笹山 欣悟・三倉 美千子・簗毛 正勝

保育園連盟の陳情を採択!!

〈陳情案件〉 人吉市保育園連盟から出されておりました「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に対し、現行保育制度の拡充を求める国への意見書提出を求める陳情は、委員より「新システム」は都会では必要かもしれないが、人吉市では待機児童もなく、人吉市の保育現場と違うと思われる。また「新システム」が導入されると保育の質の低下を招く恐れがある等の意見が出され、全会一致で採択しました。

継続して審査していました「介護保険制度見直しに関する陳情」は、委員より陳情趣旨は理解できるが、制度を見直せば、介護保険料の引き上げにつながる。値上げによって、サービスが受けられない人も出てくる等の意見がありましたが、介護職員の待遇改善は必要との観点から、賛成多数で採択しました。

〈予算案件〉 一般会計補正予算の主なものを報告いたします。民生費で政府の経済危機対策として、住居を失った離職者を支援するために、離職者が安心して就職活動ができるように、住宅手当緊急特別措置として20万6千円を増額しました。児童措置費で、児童扶養手当を746万7千円組んであります。この対象者は母子家庭、未婚の母、父に重度の障がいがある世帯。平成22年の8月からは父子家庭も対象で、10月

1日現在で471人(父子家庭36人)です。生活保護費の扶助費に4,199万6千円追加しています。10月末で世帯数353世帯、人員470人で、昨年より世帯で30世帯、人員で52人の増で、総額6億5,511万6千円になる見込みです。債務負担行為の補正は、平成23年度から平成27年度までの5年間の老人福祉センター2期指定管理の委託に伴う補正で、4,033万円であります。介護保険特別会計補正予算の地域支援事業費を28万7千円増額しています。これは、認知症で徘徊される恐れのある高齢者に位置を知らせる機器を持っていただき、居場所をパソコン等で知らせ安全に保護するものです。



老人福祉センター等水路改良測量設計業務委託現場を視察する厚生委員会

経済建設委員会報告

●委員長 森口 勝之 ●副委員長 松田 茂
●委員 井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴・立山 勝徳・山下 幸一

農業水産業費5,099万円、 土木費3,068万円追加!!

本委員会では、平成22年度人吉市一般会計補正予算のうち、労働費、農林水産業費、商工費、土木費及び債務負担行為の補正について審査をしておりますので、そのうち主なものを報告いたします。

まず、農林水産業費のうち、認定農業者の新規就農者1名に対する祝金として20万円の補助金が計上されております。本件については、認定農業者の認定のあり方について相当厳しい制約があり、「地域にあった認定のあり方」について検討すべきとの意見がありました。

また、県の補助事業として企業等農業参入支援事業3件分915万2千円、緑の産業再生プロジェクト促進事業（高性能林業機械購入事業2件分）2,092万4千円は、いずれも全額を県の支出金を充当するものであります。

次に、土木費で主なものは、市道大塚桑木津留線の落石防止を施すための測量設計業務委託料300万円等であり、いずれも慎重審査の結果認めることに決しました。

球磨川の濁水対策について

今年の夏は局地的な豪雨によるとみられる川辺川を中心とした球磨川水系の異常な濁水が数回にわたり発生し、更にはその濁水が長期化するなど、観光面への大きな影響がありました。人吉温泉観光協会から濁水対策についての要望も出されておりましたので、本委員会では去る9月27日、川辺川上流域の山腹崩壊箇所を現地視察し、山腹崩壊箇所の早急な復旧、森林管理を含む予防治山事業の必要性を痛感したところです。なお、国・県に対して早急な濁水対策への取組を強く要望する意見書を今会議において全会一致で可決し、国・県へ提出いたしました。



大塚桑木津留線測量設計業務委託現場を視察する経済建設委員会

予算委員会

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 井上 光浩
●委員 全議員

本委員会に付託されました一般会計補正予算の歳入及び地方債につきまして、審査の結果を報告いたします。

主なものは、小学校債1億250万円の増額補正で、人吉東小学校の耐震補強工事と大規模改修工事を行うことに対するものです。生活保護費負担金2,328万7千円は、生活保護世帯の増加に伴う最終見込みによるものです。放課後児童健全育成事業費補助金1,510万7千円の増額補正は、10ヵ所の学童クラブに要する経費と併せて指導員の健康診断、障がい児受入れに対する事業に伴うものです。地域雇用創造ICT絆プロ

ジェクト交付金2億6,228万5千円の増額補正は、国の予備費事業で情報通信技術を積極的に活用して、子ども同士の学び合いや学校と家庭との連携を深めることをねらいとして取組むためのものです。委員から、生活保護の増加状況について、新型インフルエンザワクチン注射補助金について、国・県の補助金額は変動するおそれがあるので、事業ごとに確定・内示・申請など現状がわかるよう説明してほしいなどの質疑、意見がありました。いずれも全員による慎重審査の結果、全会一致で原案どおり認めることに決しました。

議会運営委員会

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 西 信八郎
●委員 松岡隼人・福屋法晴・森口勝之・田中 哲・立山勝徳・下田代勝

12月定例会の開催にあたっては、採決閉会まで9回の議会運営委員会を開き①提出議案・陳情・会期日程案・議案質疑及び一般質問の取り扱いについて、②討論について、③追加議案について、④陳情・委員会付託・議員派遣・閉会中の継続審査について、⑤発議について（人吉市議会議員定数条例の一部を改正する条例）、⑥討論・意見書について（5件）、⑦議長の

辞職に伴い許否投票表決について、⑧議長選について、⑨副議長選について審議いたしました。今議会は16名の議員が、一般質問で市長、副市長、教育長、各部長と白熱した議論を展開しました。議長選、副議長選は投票にて行いました。

球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会

●委員長 山下 幸一 ●副委員長 村上 恵一
●委員 井上 光浩・豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之
田中 哲・本村 令斗・下田代 勝

今議会における本特別委員会審査は、10回目の委員会開催となります。

今回は「ダムによらない治水を検討する場の状況について」及び「御溝川改修に伴う今後の取組について」の2項目について審査をいたしました。

まず「ダムによらない治水を検討する場について」は、「第8回ダムによらない治水を検討する場」が6月23日に熊本市において開催されて以来、現在まで未だ開催されていない現状について執行部から説明を受けました。9月定例会における本特別委員会において、近々第9回目が開催されるという説明を受け、そのように認識を持っていましたが、執行部によりますと、国土交通省九州地方整備局からは、第9回の開催時期についてははっきりとした回答をいただいていないということであり、今後見極めることとしました。

次に、「御溝川改修に伴う今後の取組について」を審査いたしました。まず、この項目の審査に入る前に開催した本特別委員会協議会において、熊本県球磨地

域振興局より、これまでの経過、取組、方向性、方針といったことに関して説明を受け、委員会再開後、今後の御溝川問題に関して、本特別委員会がどのような取組ができるのかについて協議をしました。意見として、毎年浸水被害を受けておられる地元の方々から、対策を求める要望の声が上がっている現状に対し、具体的な対策さえも全く示されていない。また、応急的な措置として、着手できるものからでも早急に対応を求める必要があるのではないかと。こういった意見が多数だされたところであります。

本特別委員会としましては、このような状況を踏まえ、今後、関係当局に御溝川の浸水被害に対する早急な対策を求める陳情活動を行うことで意見の一致をみたところであります。陳情の日程、活動内容につきましては、平成23年1月に本特別委員会を開催し、具体的なことにつきましては、協議を重ねていくことで委員会は閉会しました。

公益的施設の適正配置に関する特別委員会

●委員長 立山 勝徳 ●副委員長 三倉 美千子
●委員 松岡 隼人・笹山 欣悟・西 信八郎・松田 茂
永山 芳宏・福屋 法晴・仲村 勝治

本委員会は、人吉総合病院の建替え問題、旧中津留美術館跡地問題、市が所有する遊休地の処分問題について審査していますが、9月議会以降3回の特別委員会を開催しましたので、それを踏まえ現在の状況について報告します。

◎旧中津留美術館跡地は市で保有し有効活用を図る!!

旧中津留美術館跡地は、将来の図書館建設用地として平成18年に購入しましたが、市財政の厳しさやその他の事由により図書館建設は断念し、有効な利用方法について検討を進めてきました。また、9月には東校区全町内会長から陳情書が提出され、本委員会は11月1日に陳情者の方々と意見交換会を開催しながら審査を進めてきて全会一致で採択いたしました。執行部は「旧中津留美術館跡地を考える会」を設置して鋭意検討を進め12月1日の委員会で「一定のまとめ」が報告され、その確認事項として、(1)当面は市で保有し売却は考えない。(2)建物は原則解体する。(3)市民に一般開放する。(4)具体的な用途は、

3月までに提示するという内容であり本委員会はこれを了承いたしました。

◎人吉総合病院建替えの概要について!!

10月18日、木村病院長、作元事務局長、前田医事課長、内藤建築事務所北添氏が出席され、建替えの基本構想、建物の配置や概要、景観的な配慮、断面構成図、建設スケジュールなど説明を受け、12月1日の本委員会では、工事の進捗状況、資金問題、駐車場問題、市道の拡幅問題、国の動きなどについて、執行部の説明を求め審査を続けています。

◎遊休市有地の売却について!!

売却を予定して準備を進めているのは次の4カ所です。

- (1) 願成寺町字杉園 398-3、宅地 976.40 m²
 - (2) 二日町 52-1、雑種地 278.74 m²
 - (3) 下青井町 388-3、雑種地 200.37 m²
 - (4) 東間上町今見堂 3 筆、宅地 819.21 m²
- 全て一般競争入札となります。

問 市営住宅の最上階に住む人の話は、風呂に入れる水の出しが悪いと聞いた。改善は、最上階の水圧が低い原因は、高架水槽の高さが低いことによるもの。水圧の改善には、市営住宅の改修寿命化計画を策定し、改修の水圧の改善を含め、老朽化している給水施設全体の改修を検討していく。

問 願成寺墓地公園に設置されている防災サイレンは、十二時と午後六時に放送されている。この放送は、雑音があり非常に聞こえにくいが、修理できないのか。

答 この機器は、市民の皆様が生命にかかわる重要な情報を伝達する機器であるので、早急に対応する。

問 市営住宅の最上階に住む人の話は、風呂に入れる水の出しが悪いと聞いた。改善は、最上階の水圧が低い原因は、高架水槽の高さが低いことによるもの。水圧の改善には、市営住宅の改修寿命化計画を策定し、改修の水圧の改善を含め、老朽化している給水施設全体の改修を検討していく。

問 平成二十三年度からの鳥獣被害防止計画は、策定するのか。また、サル、シカの捕獲に関する県からの権限委譲は、どうするのか。

答 第二期鳥獣被害防止計画を策定中である。平成二十三年度からシカ、サルの捕獲に関する権限委譲を受け、計画である。

問 願成寺墓地公園に設置されている防災サイレンは、十二時と午後六時に放送されている。この放送は、雑音があり非常に聞こえにくいが、修理できないのか。

答 この機器は、市民の皆様が生命にかかわる重要な情報を伝達する機器であるので、早急に対応する。

問 市営住宅の最上階に住む人の話は、風呂に入れる水の出しが悪いと聞いた。改善は、最上階の水圧が低い原因は、高架水槽の高さが低いことによるもの。水圧の改善には、市営住宅の改修寿命化計画を策定し、改修の水圧の改善を含め、老朽化している給水施設全体の改修を検討していく。

市営住宅の給水改善について
仲村 勝治

一般質問

水道事業の諸問題、 県道人吉水保線

田中 哲

問 水源保護条例について、どの位の事業体が制定しているか。人吉市で制定する場合の課題は。人吉市での必要性はどうか。

答 平成十九年三月現在、全国で一三三〇水道事業体のうち一六〇市町村が制定。理由に水源の枯渇防止、水質保持の観点等。また制定の課題は水源保護区域の規制内容と範囲指定、規制対象事業の指定などがある。このため地元住民の理解、市全体の問題として検討する必要がある。最近外国資本による森林買収事例等もあり、他市、社会情勢を見ながら今後検討する。

問 給水区内の配水管未布設地区で配水管工事を市負担の考えは。

答 配水管未布設地区における配水管布設に要する費用の負担について、県下の事業体の事例を参考にして配水管布設工事に関する規定を整備していく。

問 県道人吉水保線の未改良部分は今後どうアプローチするのか。

答 非常に重要な課題であり、粘り強く要望する。また県知事にも直接要望したい。

※口蹄疫菌は水道水では死滅しないことが判明。

学校におけるフッ化物 洗口の問題点

笹山 欣悦

問 熊本県議会九月定例会において「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が上程、可決され、十一月一日より施行されている。この条例の第十三条に学校等への支援が規定されているが、フッ化物洗口にはどのような問題があると考えなのか。

答 一点目は薬物の管理である。フッ化ナトリウム粉末が薬事法で劇薬指定を受けているのでより安全かつ厳重に管理する必要がある。二点目はフッ化物洗口の安全性である。三点目は学校で実施する場合の先生方の負担についてである。また、児童生徒・保護者及び学校に対して具体的方法、期待される効果、安全性について十分説明し同意を得る必要があると考えている。

問 フッ化物洗口の実施について教育長はどのように考えるか。

答 効果等も含めて総合的に研究する必要がある。学校現場や保護者の声に耳を傾けながら検討しなければならぬと考える。

※その他、給食調理業務の委託、畜産振興に対する取組について質問しました。

駅前広場開発について、 市民の意見は？

福屋 法晴

問 人吉市のゴミ分別の調査及び啓発活動について。

答 町内会を始め団体を対象に、ゴミ分別体験研修を行い結果をデータとして、使用している。

問 ゴミ袋が小さくなった理由及び単価について。

答 ゴミ袋検討委員会の中で、ゴミ袋のサイズ等について協議され、市民から破れやすいとの意見があり少し厚くし価格を据え置くために小さくした。

問 駅のタクシー乗り場が、遠くなり不便になった理由は。開発事業については。現地利用户の意見をしっかりと聞くべきでは。

答 小京都人吉の玄関口にふさわしい駅前にするために整備を行ったもので、不便を感じられるかもしれないが、駅前広場整備事業の趣旨をご理解いただきたい。

問 構内待合室からは、格子で、からくり時計を見る事が出来ないのは、なぜなのか。

答 人吉のイメージに沿って、和風の雰囲気を出すようJR九州の方で設けられた。

※その他、多目的運動広場の早期着工を行うよう要望しました。

人吉市中核工業用地 推進策について

井上 光浩

問 県南地域の中で人吉市は優先順位一位ということで県の支援の経過と今後について。

答 地下水位調査を実施され、水質試験は良好な結果が報告されており平成二十二年度の工業団地施設整備促進事業においても優先順位一位として十一月二十九日付で地質調査を実施した。

問 中核工業用地の今後のスケジユールとして南九州西回り自動車道の排土の搬入計画について。

答 三月末までに約九万㎡の排土が持ち込まれる計画。国土交通省より平成二十三年以降の搬入計画については今後の土地取得を含めた中核工業用地の整備状況により協議を図っていききたい。

問 現在農振除外のため県と調整を行っているが、今後の取得計画については。

答 現在も県と調整を行っているが農振除外の許可があり、土地所有者の同意が得られたら、平成二十三年度には用地買収に取りかかる予定。

※保護者用の緊急時の連絡メールシステム、ベースボールスクールについて質問しました。

平成二十三年度 予算編成について

松田 茂

問 来年度予算編成で「選択と集中」「経営戦術」「財源の有効配分」「スリムで効率的な予算」はどのような意味なのか。

答 キーワードとしての意味を持つ、所要財源の確保に最大限の努力を傾注する。既存の事務事業についても引き続き、その必要性、優先度の観点から評価見直しを行い、財源の有効的な配分に努め、スリムで効率的な予算編成にする方針である。

問 来年度予算編成方針で4つのキーワードを使った理由は。

答 「観光で食べられる町」「農業で食べられる町」さらに企業を誘致し就業人口を増やし、市民の皆様が笑顔で暮らせる町を目指す。限られた財源を有効に分配することでスリムで効果的な財政運営が可能になり、引き締まった筋肉質な財政構造に転換できると考えている。このような考えから4つのキーワードを用いてその方針とした理由である。

※その他観光振興より、じゅぐりつと博覧会、くま川下り（株）、外一点について質問しました。

緊急経済、雇用対策の総括

立山 勝徳

問 二十年度から市が取組んだ経済、雇用対策の総括は。

答 取組んだ事業は、八十五事業、事業費総額は三十四億三七八四万円、その内訳は、国県の補助金、十九億八七三三万円、臨時交付金十億四四〇二万六千円、市債が三億四二〇〇万円、市の一般財源は、六四四七万四千円で相当の経済効果があつたと思う。その中で雇用対策の内訳は、ふると雇用再生事業が九事業で二十一名雇用の六二〇〇万円。緊急雇用対策事業では三十一事業で延べ四二一名を雇用し、一億一〇〇万円の実績である。

問 市内全小中学校の「太陽光発電事業」「耐震化事業」「空調設備事業」についての説明を。

答 太陽光発電設置は、市内全小中学校で二億五七〇〇万円、学校全体の年間発電量は二十六万五千kwと推定している。耐震化事業は八カ所で約四億五千万円、未達成の東小は今年で約一億九千万円、中原小は一億三千万円、西小も早急に実施したい。空調設備は全小中学校で約二億五七〇〇万円を実施した。

地域エネルギー開発

ICT教育等

下田代 勝

問 人吉市は、エネルギー開発（マイクロ水力発電、バイオエタノール）にどう取組んでいるか。溪谷、小河川、用水路、地形水量等の状況調査は。大学、工業高校等専門機関へのアプローチは。マイクロ水力発電等地域エネルギー開発の展開は。

答 エネルギー開発について未だ取組んでいない。小河川、準用河川は把握しているが、大学等へのアプローチは行っていない。マイクロ水力発電等には、高い関心で検討を進めたい。

問 ICT教育コーディネーター及び支援員は教諭資格者か。三カ月雇用の後は。ICTと学力向上の相関は。タブレットパソコンを全生徒に配置の考えは。

答 コーディネーター等はICT関係専門家に委託。三カ月後は、IT見識の高い教師を人吉に集める。ICT教育で各課目の得点を五点高める。タブレットパソコンを全生徒への配置は今後の大きな課題。
※市民のまちづくり、夜の風物イルミネーションの支援について質しました。

TPP参加に反対を

本村 令斗

問 全国町村会は、環太平洋連携協定（TPP）への参加に反対する特別決議を採択した。農業委員会の全国会長代表者集会も、反対する決議を満場一致で採択した。市長も反対すべき。TPP参加によって、①人吉市への影響を試算したか。②日本の農業は壊滅し、地方の雇用も失われることを認識しているか。

答 ①今のところ試算できない。②食も経済も破壊されるという考えや、大きな経済効果はないという考えもある。参加国の動静も見極めなければならない。

問 国保加入世帯のうち、所得が〇から一九九万円までの世帯が、八三・四六％を占めている。所得二〇〇万円以上四〇代の両親と十代の子ども二人という標準世帯では、国保税はいくらか。

答 四四五〇〇円。
問 市長の所得に合わせて計算すれば、約一七三万三千円払っていることにあたる。低所得者にとって国保税の負担感は大きいものと思わないか。
答 所得の二割三〇四分を占め、負担感は大いなものとなる。

生産調整作物の

振興と販路拡大を

西 信八郎

問 米価が下がる中、戸別所得補償対策に加入するために、生産調整達成が加入要件となっている。生産調整作物の選定は、農家が取り組みやすく、所得向上にもつながる作物の振興と販路拡大が必要と思うが考えは。

答 焼酎原料用加工米や飼料稲、トウガラシなども含め、関係機関と一体となつて、販売先を確保しながら、農家を取り組みやすい作物の選定と振興を図ってまいりたい。

問 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域と家庭の連携と協力体制の構築を図り、多様な形態の教育支援を可能とし、教師が子どもと向き合う時間の拡充を図るため、創設された学校支援地域本部事業を三中学校区でも取り組めないか。

答 本事業に対する学校側の考え方や校区民の皆様方の色々な御意見を伺いながら検討する。
※この他に、森林経営計画制度について。教職員定数改善計画について。児童虐待について。学校給食調理業務選定委員会についても質問しました。

農業と観光の振興促進を！

養毛 正勝

問 球磨家畜市場の活性化のため、近隣の自治体と協力した購買者へのPRが重要であるが、どのように考えているか。

答 人吉球磨の行政及びJANAなど農業団体で構成されている球磨農業活性化協議会畜産部会などの組織を中心として、関係者が一体となつた活性化対策を行う必要がある。

問 農産物直売所をPRするためにマップを作つてはどうか。
答 農産物直売所を観光客等に利用いただくことは農家の所得向上に繋がるため、検討したい。

問 SL運行にあわせ、観光客が集客できるように大村横穴古墳に隣接する城本公園にて、古代ハスを活用して魅力ある公園整備はできないか。

答 観光資源として活用したいが文化庁との協議、多額の費用も必要となることから、今後、関係部局と協議し検討したい。
※その他に、有害鳥獣駆除。農業機械の導入。人吉市老人福祉センターの温泉の温度管理。石野公園のトイレ整備について、質問・要望しました。

ノロウイルス
(感染性胃腸炎) 対策は

川野 精一

問 市のノロウイルス対策は、健康福祉部では、高齢者や幼児に関する施設で、厚労省や県の感染症予防対策に基づき、感染症予防及び流行を最小限にすべく努力する。また、教育部では、小中学校での予防の徹底や健康観察を行い、保護者へも注意喚起に努める。給食センターでは、学校給食衛生管理基準に基づき安全衛生の徹底に努める。経済部における対策は、保健所や県食品衛生協会等と協力し講習会を重ねている。食中毒防止の注意喚起を行い、感染症対策に努める。

問 小河川樋門の内水排除ポンプの増設および早期稼働は。

答 大柿排水樋管へは、本年度ハインチの水中ポンプを四台購入。合わせてこれまでのリースポンプを稼働することが可能。釜場排水樋管では、業者が調達可能であれば増設できる。出水川排水樋管には、熊本大学の協力でライブカメラを設置するので、早期のポンプ設置に大い活用できる。

雇用情勢悪化にどう対応する

村上 恵一

問 新聞によると失業率が五・一%、有効求人倍率は、六カ月連続改善とのことであった。そこで、十月期の有効求人倍率の県平均と人吉球磨の現状はどうか。また県内の他市との比較は。

答 くまもと職業安定業務月報によると、県平均は〇・五二倍、球磨公共安定所管内では、〇・三八倍で〇・一四ポイント低い状況。本年十月期と比較すると、熊本が最も高く、最低は水俣で球磨人吉はその次に低い状況である。

問 緊急雇用関連の補助制度によって、中小企業との連携による雇用の掘り起こしができないかと思う。この厳しい状況を考えれば、庁舎内に雇用関係専門の課を設けるべきではないか。

答 確かに、専門課を設けることも一案だが、まずは組織一丸となって取り組むのが重要。雇用情勢によっては、市独自の策を編み出さないといけない。今すぐ仕事に就きたいという人のためにも真剣に考えていかなければならない。

大村横穴群の今後について

松岡 隼人

問 大村横穴群崩落現場周辺についての今後の対応は。

答 岩盤に悪影響を与える樹木等の伐採・除去は毎年行う。全体的な対策については、県に急傾斜地崩壊対策事業に取り組んでもらうよう要望してきたが、不採択の報告を受けたので、本市で、一日でも早く事業の実施に取り掛かれるよう努力する。

問 トウガラシとキクラゲの栽培について生産者の収入が増加するよう支援してほしい。

答 栽培者の皆様に不利益がないように、また、安心して栽培に取り組めるよう支援する。

問 本市所有及び寄託された古文書、古文書のマイクロフィルムを活化してほしい。

答 管理方法と合わせて検討する。

問 子ども・学校・家庭をつなぐICT絆プロジェクトを実施すると算数、理科、社会の得点が平均して五点多くなり、知識・理解や技能・表現の観点で高い効果が得られると理解しているのか。

答 そう考えてもらっている。

発達障がい支援について

豊永 貞夫

問 乳幼児健診の際の臨床心理士への相談や、昨年度から実施されている五歳児健康相談後の支援情報等の取扱いと活用。また、小、中学校への進学時の情報は共有されているのか。さらに、就学前から小、中学校、就労までの一貫とした支援対策として、発達支援センターを設置する考えは。

答 就学前の支援情報は、適正な就学指導及び、学校教育における支援体制に効果的に反映するよう対応している。特別支援教育は、一貫した支援が必要だが、支援するためには総合的な支援体制を構築する必要がある。諸問題を解決するため、今後の研究課題だと考えている。

問 不登校対策として、人吉つ子アドバイザーの下、「かがやき教室」が設置されているが、活動状況と今後の不登校対策の方向性は。

答 現在三名が登校されている。今後は、研修を受けた支援ボランティアの方々と共に、一人でも多くの児童生徒が登校できるように支援していきたい。

岩屋熊野座神社関連
及び東間赤池線

森口 勝之

問 岩屋熊野座神社の今後の環境保全計画及び活用計画について市としての具体的な考えは。

答 平成二十四年度までに、神社本体の保存修理及び復元工事、さらに防災設備設置及び防災道路工事が完了し、その後神社策定の「保存活用計画」の実施計画については、文化庁、熊本県と協議調整しながら、内容がより具体的に実現できるように最大限の支援を行っていく。また、当神社は地域の観光資源としても十分に成り得るという視点から今後、総合的なパンフレット作成及び散策ルートの設定も検討していく所存である。

問 市内の観光資源である神社として、案内標識の設置等認知度が高まる対策がとれないか。

答 近在の赤池観音とのルート設定も視野に入れながら、神社の保存修理工事の進捗に合わせ、要望に答えるよう努力する。

問 東間赤池線は、地元生活道路として、また観光ルートとして、重要な市道であり、整備方針は。

答 離合箇所設置の必要性は十分認識しており、検討していく。

平成21年度歳入歳出決算を認定

平成21年度人吉市歳入歳出決算を審査するため設置しました、決算特別委員会では、次の6点の指摘・要望事項を付記し、12月定例会本議会においても認定されました。

なお、指摘・要望事項は次のとおりです。

1. 実施された緊急雇用対策事業の検証と分析を行い、各種団体と連携を密にし、更なる離職者等の就業機会の創出や、中小企業制度融資の拡充等による景気向上のための対策を講じられるよう要望する。
2. 職員の時間外勤務の執行状況を適切に把握し、職員配置の見直しを含めた業務の効率化と工夫改善が必要である。また、時間外勤務手当の適正な支給や心身の疲労回復のための週休日の振替・年次有給休暇を適切に取得できる職場環境づくりに努めること。
3. 一部事務組合等への支出においては、今後更に増大することも考えられる。健全で円滑な運営のための事業規模の見直しや、市町村の負担割合の見直しも視野にいれ、国が示した「新地方行革指針」に基づき、改善を検討されるよう要望する。
4. 人吉球磨地域交通体系整備特別会計においては、「人吉・球磨地域公共交通活性化協議会」が設立され、事業計画を策定し、また「新たな人吉・球磨地域公共交通のあり方を検討する会」においては、赤字補てんシステムの再検討が行われている。今後、早急にこのシステムを確立し、人吉球磨広域行政組合で基金管理を行うなどの経営安定化に向けた検討が行われるよう要望する。
5. 税・使用料・負担金の収納については、一定の成果は見られるものの、厳しい状況が続いている。今後、関係部署間の滞納情報等の共有を行い、連携して更なる収納対策に努めること。
6. 国・県の諸制度における補助金の利用については、一部団体に偏ることなく、関係団体全体への内容周知を平等に行い、制度利用の機会均等を図られるよう努めること。

請 願 ・ 陳 情 書 の 審 査 結 果 に つ い て

委 員 会	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	審 査 結 果
総務文教委員会	改正国籍法に関する意見書の提出を求める陳情	継続審査
	多目的運動広場建設に関する陳情	継続審査
厚 生 委 員 会	介護保険制度見直しに関する陳情	採 択
	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める意見書の提出に関する陳情	継続審査
	「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に対し、現行保育制度の拡充を求める国への意見書提出を求める陳情	採 択
	「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出に関する陳情	継続審査
経済建設委員会	歴史ある曼茶羅川の再生を願う陳情	継続審査
	国の責任による安心・安全な国土づくりと出先機関の存続を求める意見書提出に関する陳情	継続審査
公益的施設の適正配置に関する特別委員会	元中津留美術館跡地の有効活用に関する陳情	採 択

12月定例会で5件の意見書を可決し、関係機関へ提出しました。

お 詫 び

10月15日発行の議会だよりについて
4ページ、5ページの上部の欄外に記載してあります日付と発行号数が間違っておりましたので、次のとおり訂正してお詫び申し上げます。

(誤)平成22年7月15日第65号

↓
(正)平成22年10月15日第66号

【議会報編集委員会】
委員長／簗毛正勝
副委員長／山下幸一
委員
松田 茂
松岡隼人
本村令斗

井上光浩
田中勝哲
下代勝

昨年、本市の偉人である日野熊蔵翁が、日本で初めて動力飛行の飛行に成功してから百周年の記念すべき年でした。各種イベントによってその功績が広く世間に知れ渡り、人吉市民が郷土に愛着と誇りを感じ、地域力の向上がうかがえる価値のある年でした。今年三月に九州新幹線が全線開通することから「観光」が注目される年になると思います。本市議会としても地域経済発展のため活発な議論をしたいと思っています。十二月議会では、議員の定数を二減し十八とする条例改正案を議員発議で提案し可決しました。議会は、執行機関に対し抑制・監視を行うことが主要な機能です。で、私たち議員がこれまで以上に努力をしてまいりたいと考えています。今年も皆様にとりまいて良い年となりまうように。

(文責 簗毛 正勝)

編集後記